

御 挨拶

東京都立永福学園のホームページをご覧ください、ありがとうございます。

挨拶に先立ちまして、令和六年能登半島地震で被災された全ての方々に、心からお悔やみ、また、お見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興を祈念いたします。

さて、本校は、平成19年4月に、高等部就業技術科を設置する特別支援学校として開校し、その後、平成21年4月に肢体不自由教育部門が設置され、肢・知併置校となりました。

また、同じ校舎内には東京都立大塚ろう学校永福分教室も設置されています。

そのため、本校では「共に生きる」をテーマに、障害の有無や障害種別等の垣根を越えて校内・外での児童・生徒同士の交流活動や地域への社会貢献活動を実施することにより、特別支援教育が最終的に目指す「共生社会」の具現化に努めています。

具体的な取組として、2校3教育部門合同での避難訓練（11回／年実施）や宿泊防災訓練の実施、図書室やギャラリーにおける読書活動や芸術鑑賞等とおした児童・生徒の交流の充実を図っています。

本校は、これまでの実践や成果に満足することなく、現行の学習指導要領の趣旨を踏まえた教育課程の改善や全教室に大型モニター又はプロジェクターを整備し、ICT機器を有効活用した授業改善等に取り組むことなどにより、「個別最適な学び」や「協働的な学び」を充実させ、令和の日本型教育における特別支援教育の発展に尽力してまいります。

結びに、保護者の皆様、地域の皆様、企業・関係機関の皆様におかれましては、今後とも本校の教育に御理解・御協力、そして御指導・御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



本校ギャラリー入口に飾られている書家の金澤翔子氏の作品です。

令和6年4月1日

東京都立永福学園

統括校長 緒方 直彦